



対面 + オンデマンドで学ぶ！

令和 8 年度 みたか学校支援者養成講座



受講料すべて
無料！

みたかスクール・コミュニティ講座

学校の授業、放課後などにボランティアとして携わっている方、関心のある方、保護者の方など、子どもたちの学びや成長に貢献したい方に向けて、実践的なスキルや子どもたちへの理解などに関する講座を対面講座とオンデマンド講座で開催します。



対面講座

連続講座
全2回

10.30

金

10:00~12:00

1

子どもに関わる
ボランティアの「楽習」

11.13

金

13:30~15:30

2

「楽習」ボランティアの
現場を見てみよう！

単発講座

11.29

日

10:00~12:00

3

特別なニーズを持つ
子どもたちへの理解と支援

12.9

水

18:00~20:00

4

子どもと地域の“やってみよう”を
カタチにするには
—楽しく学ぶ、地域参加のはじめの一歩—

オンデマンド講座

1

特別なニーズを持つ
子どもたちへの
理解と支援

2

子どもの心身の
発達とかかわり方

3

学習面での
困りごとを持つ
子どもの支援について

4

心理学から考える、
よりよい学習指導

5

子どもの「元気」は
どうつくられる？
—からだところを育てる
運動・睡眠・食事—

6

子どもの背景に
目を向ける
—ソーシャルワークの
観点から—

7

学校に行こう
—学校支援ボランティアの
スタートアップと
ブラッシュアップ—

【申込方法】

■対面講座：令和 8 年 10.6 ㊟から各講座の 3 日前まで（先着制）

■オンデマンド講座：令和 8 年 11.4 ㊟から令和 9 年 2.27 ㊟まで

講座概要はこちらからも
閲覧できます。



お問い合わせ NPO法人 三鷹ネットワーク大学推進機構 電話 0422-40-0313

三鷹市教育委員会・三鷹ネットワーク大学 共同企画事業

<https://www.mitaka-univ.org/kouza/C2612300>

1つの講座から受講可能

対面講座



連続講座 全2回

学校支援ボランティア、知ることからはじめてみませんか♪

お申し込みは、
右記二次元コードから



<https://forms.gle/xzJoBdLmrYsB5osHA>

10.30

金

10:00~12:00

1

子どもに関わる ボランティアの「楽習」

講師

柴田 彩千子



本講座では、現代の学校や地域の状況を解説したうえで、子どもを支援するおとなの存在の大切さについて学びます。たとえば、家庭・学校・地域の連携・協働の仕組み、「子どもの権利」や子どもの成長にとっての意味、子ども支援を行うボランティア自身の自己成長や、人生の楽しみ（生涯「楽習」）など、多角的な視点から、子どもに関わるボランティアについて、ワークショップを取り入れながら共に考えていきます。

【申込期間】

10.6(火)~10.27(火)

【定員】30名(先着順)

【会場】

三鷹ネットワーク大学

三鷹市下連雀 3-24-3



アクセスはこちら

東京学芸大学教育学部、

同大学院教育学研究科教授

地域づくり、コミュニティ・スクール・地域学校協働活動、親の学びなどの視点から、家庭・学校・地域が協働し、子どもと大人が学びあう「地域の教育力」をいかにつくるかをテーマに、研究活動を行っている。

主な著書は、「地域の教育力を育てる」、「共生への学びの構築」など。

11.13

金

13:30~15:30

2

「楽習」ボランティアの 現場を見てみよう！

講師

今村 範子



実際に学校へ行き、授業サポート・地域未来塾などの事業説明や見学を行います。子どもに関わるボランティアの現場を体感していただくとともに、学校関係者と参加者同士での意見交換も行います。

【申込期間】

10.6(火)~11.10(火)

【定員】30名(先着順)

【会場】

連雀学園三鷹市立第六小学校

三鷹市下連雀 6-13-1



アクセスはこちら

三鷹市統括スクール・コミュニティ推進員

2011 年六小心のふるさとネットワークで活動開始、2013 年六小 PTA 役員を務める。2020 年連雀学園スクール・コミュニティ推進員となり、今年度より統括スクール・コミュニティ推進員となる。

単発講座 2回

保育付き

保育申込

定員各回4名(1歳～未就学児)、

保育料無料

各講座7日前に締め切り



11.29

日

10:00~12:00

3

特別なニーズを持つ 子どもたちへの理解と支援

本講座では、発達障がい等に関する基礎的な知識を学ぶとともに、特別なニーズを持つ子どもへの具体的な支援について考えます。特に、子どもを見る視点、それを踏まえた配慮の在り方について検討します。また、通級等で子ども自身が行っていることを知り、子どもの権利や気持ちを尊重しながら、学校でどのように関わり、支えていくことができるのかを具体的に考えます。対面講座ならではの参加者同士の意見交換も行います。

【申込期間】

【会場】

10.27(火)~11.26(木)

【定員】30名(先着順)

にしみたか学園三鷹市立第二小学校
三鷹市野崎 3-19-1

講師

村尾 愛美



東京学芸大学総合教育科学系特別支援科学講座講師

2016年に東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科博士課程修了(教育学)、都内の公立小学校や療育施設にて非常勤の職を経て現職。専門は、言語発達障がい学。主な著書は、「日本語を母語とする特異的言語発達障害児の言語特徴」「知的障害のある子どもの言語・コミュニケーション：発達の基礎と学校での言語活動」など。



アクセスはこちら

お申し込みは、
右記二次元コードから



<https://forms.gle/wQ5MLiIdRTTZkhBm7>

12.9

水

18:00~20:00

4

子どもと地域の“やってみたい”を カタチにするには

一楽しく学ぶ、地域参加のはじめの一歩—

子どもと大人が、ともに学び、交流する豊かな地域社会の実現は、子どもたちの成長にとってとても大切なことだと思います。学校がそのような地域づくりの拠点となるためには、子どもも大人も、さまざまな人たちの思いがカタチとなるような場づくりが求められます。今回の講座では、子どもと一緒に楽しむイベントの企画設計を素材として、参加者のみなさんと、学校における場づくりについて考えてみたいと思います。

【申込期間】

【会場】

11.12(木)~12.6(日)

【定員】30名(先着順)

東三鷹学園三鷹市立第六中学校
三鷹市新川 2-12-17

講師

高橋 由紀子



三鷹市市民協働センター/まちづくりコーディネーター

「つなぐ」「ささえる」「つむぎだす」をキーワードに参加と協働のまちづくりを推進する市民協働センターのスタッフ。企画運営を行っている三鷹まち活塾では、「好きなコト・できるコト・やりたいコト×まちのデザイン」をコンセプトに、地域参加への一歩を応援している。



アクセスはこちら

お申し込みは、
右記二次元コードから



<https://forms.gle/Vgwrea7Kw8eg44qM8>

ボランティアだけでなく、ご自身の子育ての参考にもなる！

オンデマンド講座 (YouTube限定公開)



配信期間

令和8年 12.1^④ から 令和9年 2.28^⑤ まで

※動画①～③は、昨年度と同じ内容になります。

お申し込みは、右記二次元コードから
<https://sckouza20261201.peatix.com>



1 特別なニーズを持つ 子どもたちへの 理解と支援

障がいの有無にかかわらず、特別なニーズを持つ子どもを理解し、適切に支援するための基礎知識を学びます。表面的な行動だけで判断せず、その行動が生じる「きっかけ」や「理由」、背景にある困難さを丁寧に捉えることの重要性を理解します。また、具体的な事例を通して、子どもの気持ちや特性に配慮した、根拠に基づく支援の考え方を学びます。

村尾 愛美 東京学芸大学 講師

プロフィールは対面講座参照。



2 子どもの心身の 発達とかかわり方

子どもの心身の発達について、体の発達の仕方と、心の発達の仕方から、子どもたちへのかかわり方について考えていきます。
子どもたちの心身の特徴から注意すべき疾患などについても説明しています。また、子どもたちへのかかわり方のヒントとともに、カウンセリングの基本技法についても説明し、それらをふまえて話の聞き方や、具体的にどのように返答するかを考えるワークもあります。

荒川 雅子 東京学芸大学 准教授

千葉大学を卒業後、千葉県・千葉市の公立小中学校で養護教諭として19年間勤務。現職5年目に千葉大学教育学研究科学校教育臨床専攻にて修士（教育学）を取得。2014年より東京学芸大学に赴任し養護教諭の養成に携わる。専門は養護教諭の実践全般に関わる養護実践学。



3 学習面での 困りごとを持つ 子どもの支援について

学校における学習面での困りごとを持つ子どもの支援をテーマにしています。主に、自閉スペクトラム症やADHD、学習障がいに関する基礎的事項や、学校での支援を検討するうえで必要と考えられる視点や主な対応方法について説明しています。

田中 美歩 東京学芸大学 特任講師

臨床心理士・公認心理師。新潟大学医歯学総合研究科にて博士（医学）を取得。自閉スペクトラム症に関する生物学的な視点を取り入れた研究に携わってきた。現在は、主に発達障害や知的障害のある人の二次障害やメンタルヘルスに関わる研究や支援に取り組んでいる。



4 心理学から考える、 よりよい学習指導

学習に困っている子どもたちにどのような声掛けをすればよいのだろう、と悩んだことはありませんか。「とにかく頑張れ」「まずは何回も繰り返して」といったアドバイスがされることも多いですが、心理学の観点からはそうしたアドバイスがあまり有効でなさそうということが分かっています。本講座では、心理学の観点から子どもたちの学び方をとらえ、よりよい支援を行うための基本的な考え方をお伝えします。

犬塚 美輪 東京学芸大学 副学長・教授

研究領域は認知心理学・教育心理学。特に読むことに関する心理プロセスについての研究と教育介入に取り組んでいる。主な著書は、「読めば分かるは当たり前？読解力の認知心理学」「14歳からの読解力教室—生きる力を身につける」など。



5 子どもの「元気」は どうつくれる？ —からだところを育てる 運動・睡眠・食事—

最近の子どもたちの中には、運動といえば「やりたくない」「やらされる」「つらい」「きつい」といったイメージを持っている子が多い現実があります。子どもにとっての身体活動を伴う遊びや運動は、「やってみたいな！」「楽しそうだな！」「思えるものでなければなりません。子どもにとって運動が「できる」ことは大切なことですが、それよりも「楽しむ」ことができる活動であることの方がもっと大切です。子どもたちが「楽しく」体を動かす、「元気」な心と体を育てるにはどうすればいいのかについてお話しします。

森田 陽子 日本女子体育大学子ども運動学科長・教授

専門は、運動遊び、幼児体育。日本幼児体育学会理事、日本子どもと伝承遊び学会理事、日本働働学会監事。アジア幼児体育学会、日本幼少児童健康教育学会他所属。その他、NHK Eテレ「いないいないばあっ！」ピカピカブ〜の監修を務める。



6 子どもの背景に 目を向ける —ソーシャルワークの 観点から—

子どもと関わる支援者をはじめ周囲の大人には、目の前の言動だけでなく、その背景や環境に目を向けることが求められます。本講座では、本人と周囲との関係の中で子どもを捉えるソーシャルワークの観点から、子どもの権利を踏まえつつ、主体性を支える関わりについて考えます。

角田 恵子 東京学芸大学 講師

東京都立大学社会科学部博士課程修了（社会福祉学）。社会福祉士として、知的障がい児者の地域生活を支える実践と研究に取り組むかたわら、地域住民のボランティア活動支援にも従事してきた。現職では、ソーシャルワークコースにて社会福祉士養成に携わっている。



7 学校に行こう —学校支援ボランティアの スタートアップと ブラッシュアップ—

学校支援ボランティアの必要性やその具体的役割、心得などのお話と、各学園・学校でのボランティア内容や窓口をご案内します。

今村 範子 三鷹市統括スクール・コミュニティ推進員

プロフィールは対面講座参照。

倉田 清子 三鷹市統括スクール・コミュニティ推進員

2010年PTAとしておおさわ学園CS委員会に関わる。CS委員会会長を経て、2020年おおさわ学園スクール・コミュニティ推進員となり、今年度より統括スクール・コミュニティ推進員となる。

